

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

「屋久島の自然」

岳南中学校 一年 安藤 結愛

私が住んでいる屋久島は、自然豊かな島です。屋久島は、一九九三年にユネスコ世界自然遺産に登録されました。

屋久島の自然を五つ紹介します。

まず一つ目は、「大川の滝」です。

大川の滝は、「日本の滝百選」にも選ばれており、屋久島最大級の滝です。大川の滝の落差は十八メートルもある屋久島代表とする

中学校

滝です。滝そば近くまで歩いていけるため滝の水しぶきを間近で体感できます。観光客にオススメのスポットです。ぜひ「大川の滝」に来て見てください。

二つ目は、「千尋の滝」です。

「千尋の滝」は、滝の左側にある岩がまるで千人が結んだかのように大きいことから千尋の滝と呼ばぶようになりました。千尋の滝の落差は、六十メートルもあります。この滝は、屋久島に位置し、巨大な花崗岩の岩盤に囲まれ

(不許複製)

- 5、読みやすいように、「と」をしっかりとつけましょう。「と」は、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たらないことはをおぎない、むだなことはをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

た美しい景観を展望台から絶景を見渡せます。
 ぜび、千尋の滝に来て見てください。
 三つ目は、トロキの滝です。日本で
 も珍しい海に直接流れ落ちる滝です。近くの
 岩場から絶景を眺めることができます。晴れ
 た日には、青い海と滝の白い流れのコントラ
 ストがとても美しいです。展望台から眺める
 と、青い海とのコントラストが美しく、写真に
 映えも抜群なオススメスポットです。
 ぜび、トロキの滝に来て見てください。

中学校

四つ目は、竜神の滝です。
 鬱蒼とした森の中にひっそりと佇む幻想的な
 滝です。伝説によると、龍神が住むと言われ
 る神聖な場所と言われています。水量が多い
 時には、霧が立ち込め神秘的な光景が広が
 っています。竜神の滝は、屋久島の穴場の滝
 として密かにスポットとしても人気です。
 落差三十メートルながらも水量が多い日は
 追々満点です。
 ぜび、竜神の滝に来て見てください。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

最後の五つ日は「白谷雲水狭し」です。
 もののけ姫の舞台としても知られるこの美しい森は、幻想的な景観が広がり、まるで映画の世界に迷い込んだような気分になります。
 深い緑と清流の音に包まれながら、神秘的な滝や巨木を巡る冒険が楽しめます。
 ぜひ「白谷雲水狭し」に来て見てください。
 この中でも好きな場所は、「白谷雲水狭し」です。なぜ好きなのかというと、もののけ姫の舞台としても出演されていて、苔や森などがたくさんあります。ぜひ屋久島に来て見てください。

中学校

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。

